

ツマベニチョウだより第23号

潮小学校でツマベニチョウが相次いで発生しました

潮小学校の組坂教頭から次ぎのとおり嬉しい知らせをいただきました。

- 1 7月10日と11日に飛来して産卵したツマベニチョウの卵14ヶの内6ヶを室内の飼育ケースで観察したところ2頭が孵化してサナギになった。そして8月6日と8日に羽化して空へ飛び立った。何れもオスであった。
- 2 7月30日に飛来して産卵したチョウの卵7ヶを室内の飼育ケースで観察したところ2頭が孵化してサナギになった後、8月30日にオス、メス各1頭が空へ飛び立った。
- 3 8月28日に飛来して産卵したチョウの卵14ヶを室内の飼育ケースで観察したところ6頭が孵化して、9月6日現在2～3センチの大きさに成長している。

サンメッセ日南でもツマベニチョウが発生しました

サンメッセ日南の河本営業企画室長より次ぎのお知らせがありました。

- 1 8月6日に飼育舎内でメス1頭が羽化し、続いて7日にオス2頭が羽化した。
- 2 数日して40数ヶの卵が見られたが9月1日に幼虫3頭を確認。飼育舎内のギョボクが繁茂して幼虫を見つけることが難しく未確認のものもあると思われる。その幼虫は順調に生育中である。

猪崎鼻のツマベニチョウが何回も発生し観察舎内を賑わしています

猪崎鼻荘の西川支配人から下記のお知らせがありました。

- 1 6月はじめに大堂津平成会の人たちが大島から採取して来た幼虫10頭が羽化して、7月18日には近くの幼稚園児30人が見に来た。
- 2 台風で飼育観察舎のビニールが破れて親のチョウは全部いなくなった。しかし幼虫は無事に育ち、むしろギョボクの葉の不足が心配になった。
- 3 その後補修した飼育観察舎で3回発生をくり返して、常時約30頭の成チョウや沢山の幼虫を見ることが出来た。
- 4 7月19日以来日曜日ごとに開かれたツマベニチョウの観察会も順調に推移して、延べ75人の観察者を数えた。



舎内を飛び交うツマベニチョウ(宮崎日日新聞河野奈津子記者撮影)

鵜戸中学校にもツマベニチョウが産卵しました。

9月6日鵜戸中学校にギョボク等の苗をお届けした際、一昨年に植えた学校裏のギョボクを須股校長と調べましたところ4本の木に10ヶの卵が産みつけられていました。先生は早速飼育ケースなどを用意されました。

ツマベニチョウの増殖誘引について新聞が大きく取り上げて下さいました

8月1日付けの朝日新聞と18日付けの宮崎日日新聞が、紙面を大きく割いて私の増殖誘引運動を詳しく報道して下さいました。たまたま猪崎鼻でのツマベニチョウの観察会の模様がテレビで放送されたことなどもあって皆様の関心が高まり、この運動の追い風になるものと感謝しています。

今年の苗の植栽と寄贈をしました

- 1 8月5日に宮崎市営の白浜オートキャンプ場奥の林縁に、ギョボク5本を植栽しました。
- 2 8月23日にサンメッセ日南から拙宅へ受け取りに来てもらい、下記の苗を寄贈しました。
ギョボク20本、ハイビスカス10本、ランタナ20本、ヒメノウゼンカズラ20本
合計70本。
- 3 前述しましたとおり9月6日に鵜戸中学校を訪れ、ギョボク10本、ハイビスカス15本、ランタナ15本、ヒメノウゼンカズラ15本 合計55本を寄贈しました。

国道220号線の沿道にツマベニチョウの絵が登場しました

潮小学校の児童たちが国道220号線の清掃に努めていることから、このほど国土交通省の宮崎工事事務所が下記の看板を建てて顕彰しました。その一部にツマベニチョウの絵が描かれています。

潮小学校を中心に宮崎寄りと日南寄りの二箇所に立てられています。ツマベニチョウの絵の下には「～日南海岸一帯をツマベニチョウの楽園に～」と書かれています。



県にツマベニチョウの好む花木の植栽をお願いしました

9月5日県の道路保全課をお訪ねして、国道220号線に花木を植栽される際には、なるべくハイビスカスやランタナ(白と黄色を除く)やヒメノウゼンカズラ、デュランタ等のツマベニチョウの好むものを考慮していただくようお願いしました。

平成14年9月12日

海老原 秀夫